

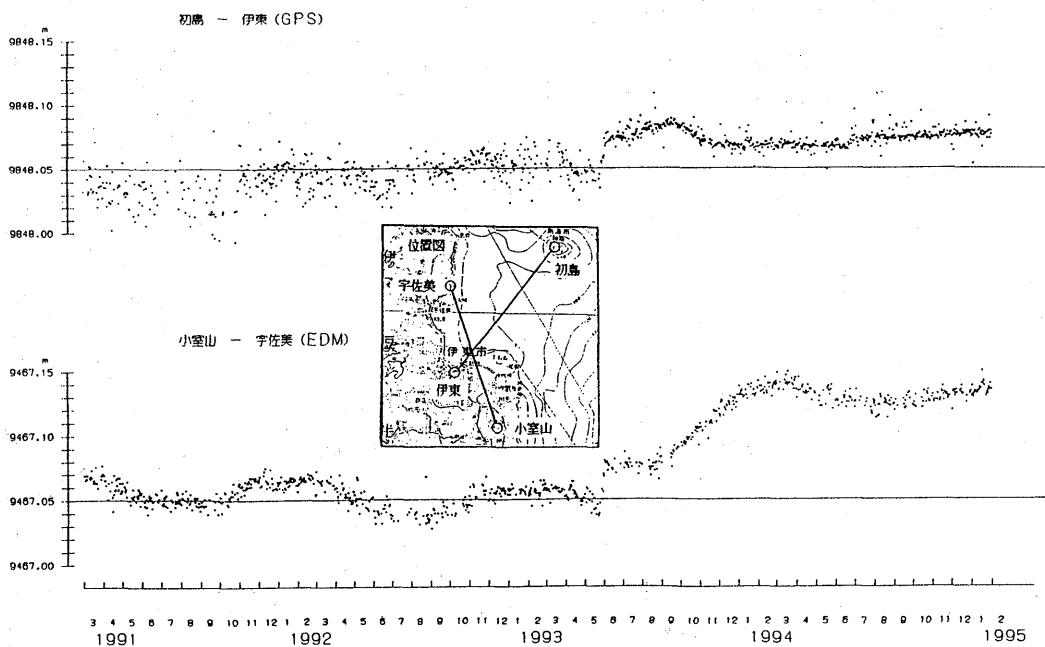
伊豆半島の地殻変動*

Crustal Deformations in the Izu Peninsula

建設省国土地理院
Geographical Survey Institute

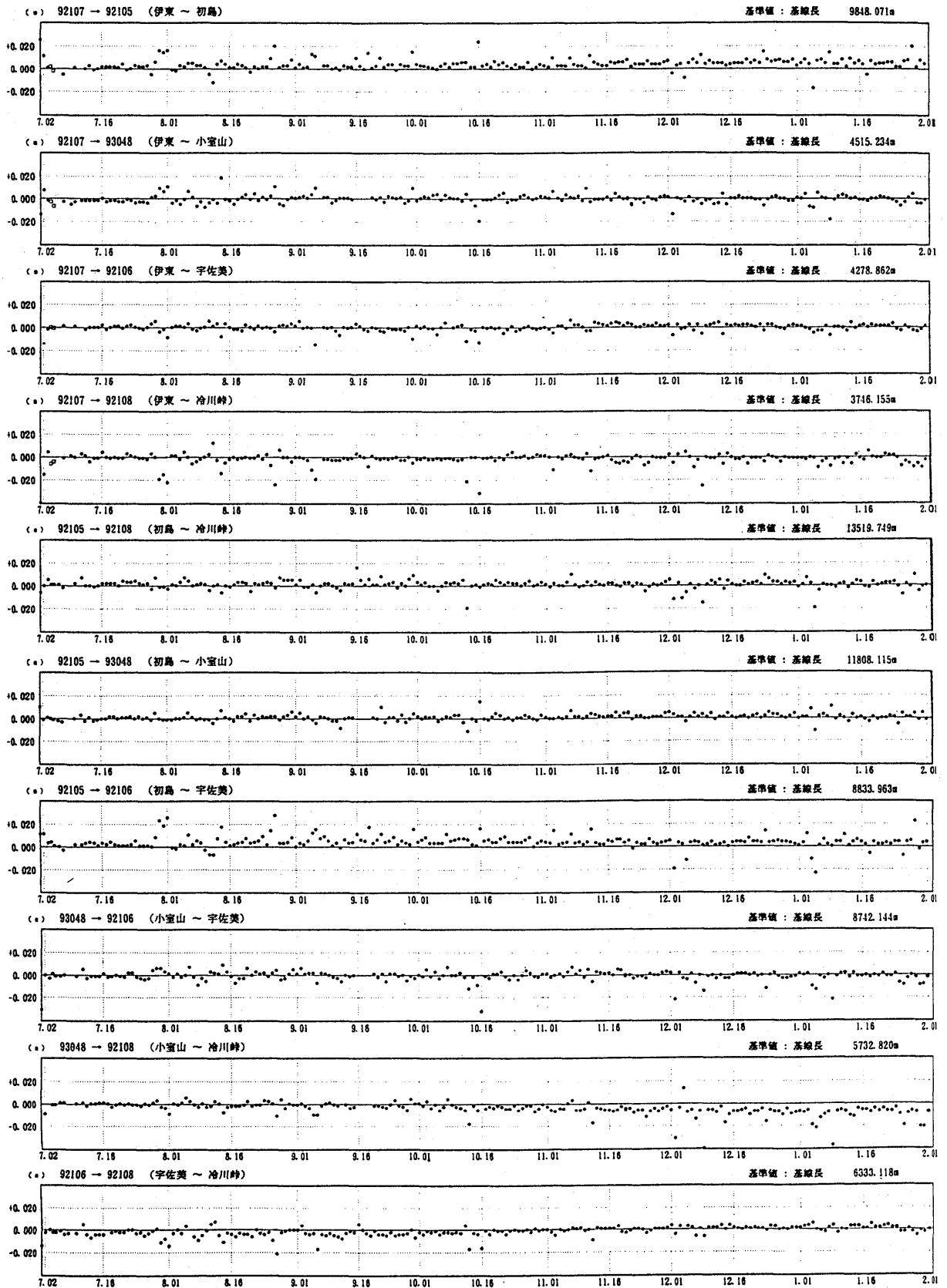
第1, 2, 3図は, 初島-伊東間(GPS), 小室山-宇佐美(EDM)間の連続辺長測量および伊東地区のGPS連続観測の結果(辺長及び比高)である。最近は, 初島-伊東間, 小室山-宇佐美間の辺長変化は停止している(第1図)。伊東地区GPS連続観測結果(辺長)にも特に変化はみられない(第2図)。比高については, 昨年10, 11月頃に冷川峠, 小室山側に若干の隆起が認められたが, 最近は停止している(第3図)。この隆起は気象条件などに起因する見かけ上の変動である可能性がある。

第4, 5図は, 伊豆地方の各験潮場間の月平均, 日平均潮位差である。油壺験潮場に対する伊東及び初島験潮場の隆起傾向は最近鈍化している(第4図)。伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差においても, 伊東験潮場の隆起傾向の鈍化が認められる(第5図)。



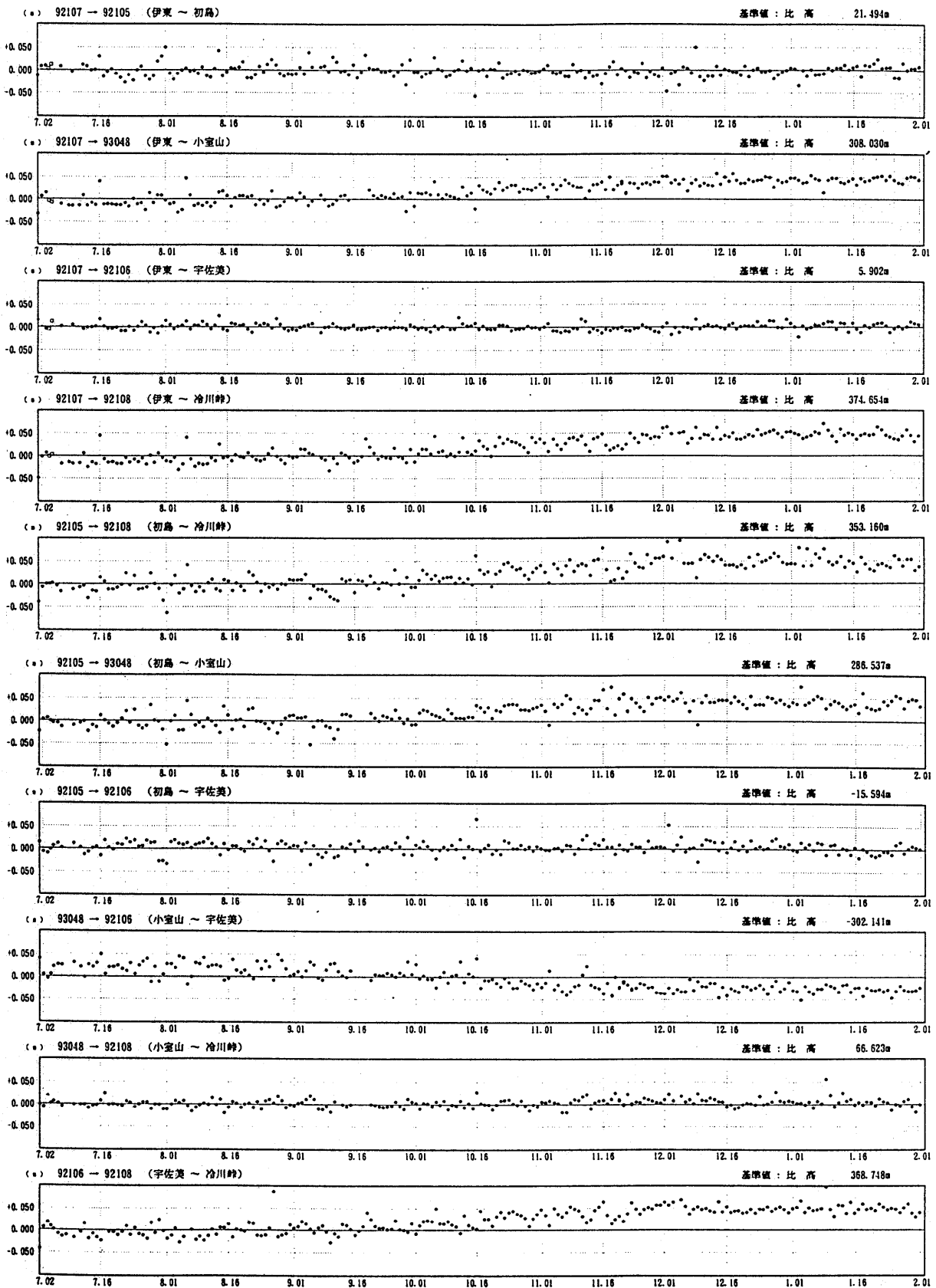
第1図 GPS, 光波測距儀による伊東市周辺の距離連続観測結果(日平均)
Fig. 1 Continuous distance change observation with GPS and EDM around Ito City (daily mean).

基線長変化



第 2 図 伊東地区GPS観測結果(基線長)
 Fig. 2 Continuous distance change observation with GPS around Ite City.

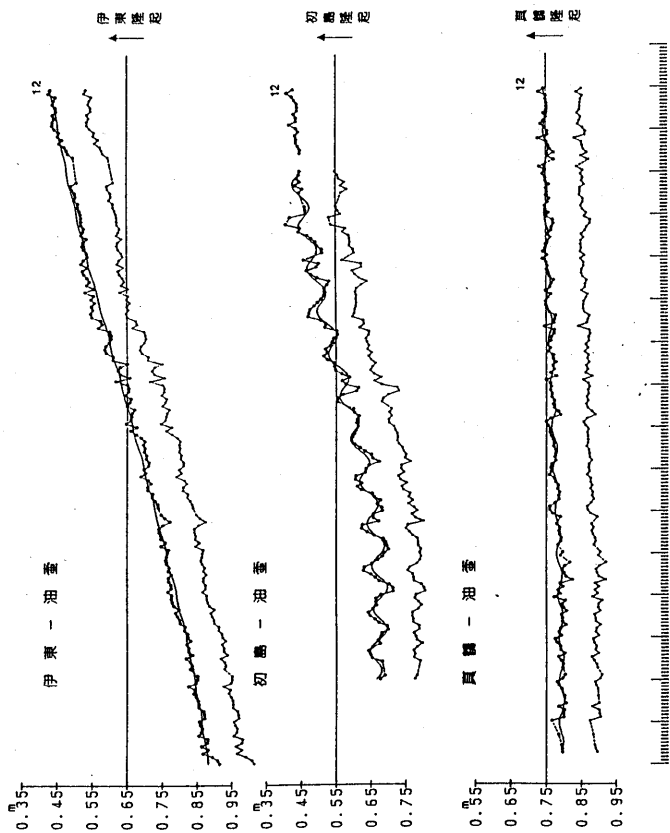
比高変化



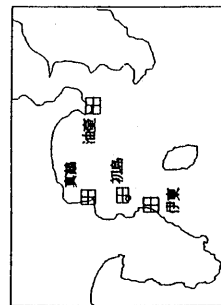
第 3 図 伊東地区GPS観測結果(比高)
 Fig. 3 Continuous height change observation with GPS around Ito City.

沼津観測センター
 観測年度による
 潮位差幅による。

1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995



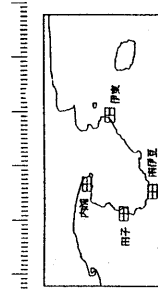
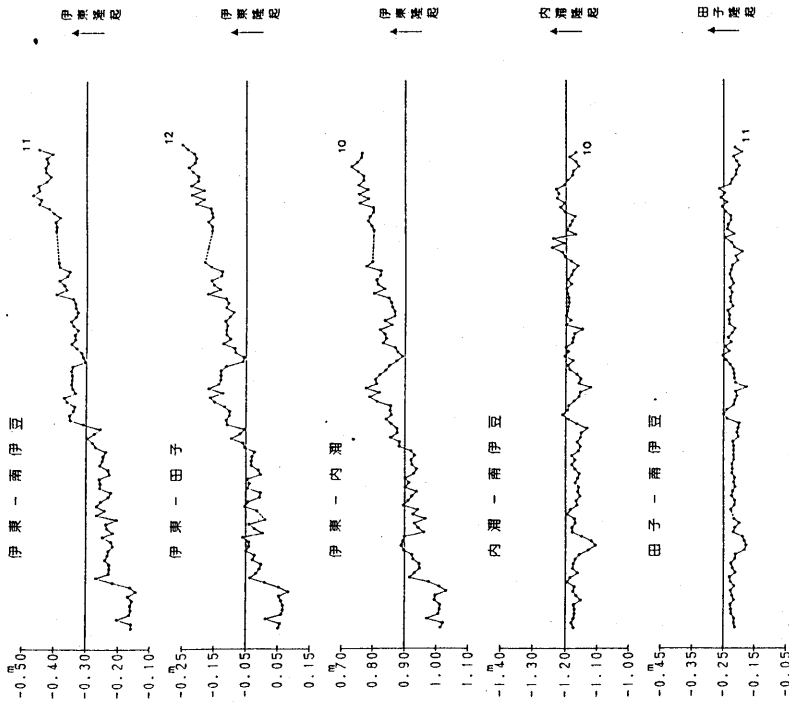
上段：観測年度および近似曲線
 下段：年別変化を補正した値
 初島 1993年5月センサー交換



第4図 伊東、油壺、初島、真鶴観潮場間の月平均潮位差
 Fig. 4 Differences in monthly mean sea levels between the Ito, the Hatsusima, the Manazuru and the Aburatsubo tide station.

沼津観測センター
 観測年度による
 潮位差幅による。

86 87 88 89 90 91 92 93 94 95



第5図 伊豆地方各観潮場間の月平均潮位差
 Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between the tide stations in the Izu district.